

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	マレーシア
2. 案件名	未来の災害に強く環境にやさしい社会を担う次世代リーダー育成プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	マレーシアでは、気候変動や都市化の進展により、洪水をはじめとする災害リスクが増大している。連邦政府は国家防災管理庁（NADMA）を中心に防災体制の強化を進めているが、科学的知見の活用や部門横断的な連携、人材育成には課題が残されている。スランゴール州は人口・経済が集中する地域であり、都市型洪水などの災害リスクが顕在化している。州政府は防災対策を進めているものの、将来リスクを見据えた環境配慮型防災や、政策と現場をつなぐ人材の育成が十分とは言えない。 本事業は、これらの課題に対応し、特に防災を環境問題からの視点を取り入れ、スランゴール州の実情に即した次世代リーダーの育成を通じて、災害に強く環境にやさしい社会の実現に貢献するものである。さらに、本事業は、こうした我が国および JICA の協力方針と整合し、日本の防災・環境分野の知見を活かした次世代リーダー育成を通じて、スランゴール州における持続可能で災害に強い社会づくりに貢献する。
4. プロジェクト目標	スランゴール州の対象地域の高校生に「防災と環境」に関する教育プログラムが提供され、彼らが州政府・自治体主導の防災対策へ参加・貢献できる基盤が構築される。
5. 対象地域	スランゴール州
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	スランゴール州政府、防災課、教育課、対象高校の学生、対象地域コミュニティ、地元大学、研究機関、現地 NGO など
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> - スランゴール州防災・環境関連の州政府・自治体職員およびコミュニティリーダーが防災・環境問題に関する知識を習得し、防災・環境トレーナーとして育成される 1 で育成された防災・環境トレーナーにより対象地域の高校にて、防災・環境教育活動が実施される - 専門家、防災・環境トレーナー、学生の協働により、防災・環境活動が学生主体で実施される <活動> 活動 1：スランゴール州防災・環境関連の州政府・自治体職員およびコミュニティリーダーが防災・環境問題に関する知識を習得し、防災・環境トレーナーとして育成される 1-1. これまでの防災・環境教育に関するデータを収集し、防災・環境教育ガイドブック作成 1-2. 防災・環境教育専門家が防災・環境関連州政府職員に防災・環境教育に関するトレーニングを実施 1-3. 防災・環境関連自治体職員・コミュニティリーダーに防災・環境教育に関する

	るトレーニングを実施 1－4. 防災・環境教育活動実施・発展のための本邦研修を実施 活動2：活動1. で育成された防災・環境トレーナーにより対象地域の高校にて、防災・環境教育活動が実施される 2－1. 防災・環境教育活動を Hulu Langat の対象高校にて実施 2－2. 防災・環境教育活動を Kapar の対象高校にて実施 2－3. 防災・環境教育活動を Ulu Klang の対象高校にて実施 活動3：専門家、防災・環境トレーナー、学生の協働により、防災・環境活動が学生主体で実施される 3－1. 学生が防災・環境プログラムを抽出・企画 3－2. 学生が防災・環境プログラムを実施 3－3. シンポジウムにおいてこれまでの成果を地域内外に発信
8. 実施期間	(西暦) 2026 年 7 月～2029 年 6 月 (3 年)
9. 事業費概算額	72,967 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	スランゴール州防災課・教育課
Ⅱ. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	国立大学法人東北大学
2. 主な活動内容	● 文理・医学を融合した学際的な災害科学研究を推進し、その成果を防災・減災、復興、政策や地域社会に活用する実践的取り組みを実施； ● 東日本大震災の教訓を国内外に発信し、国際連携や人材育成を通じて、災害に強い社会の実現に貢献